

【結核定期健康診断の検査項目について】

結核健康診断で一般的に行われる検査は、胸部 X 線検査です。

- ▶ 胸部 X 線検査
胸部のレントゲン写真の撮影。肺の状態を確認し、結核を発病していないか調べる。
- ▶ ツベルクリン反応検査
検査薬を注射して反応の状態を確認し、結核に感染していないかを調べる。
- ▶ その他の検査
IGRA 検査（採血検査）や喀痰検査（肺がんの喀痰検査とは別の検査）等がある。ただし、定期健康診断で行われることは、ほとんどない。また、「聴診のみ」のように結核の確定診断ができない検査は報告の対象とならない。

令和4年度 令和4年4月～令和5年3月実施分

結核定期健康診断報告書

世田谷保健所長 あて

健康診断を実施した時期を記入。複数月にまたがる場合は『▲年○月～×年▲月』と記載。

実施月 ▲年▲月
報告年月日 ▲年▲月▲日
保健所へ提出する日付

所在地	世田谷区世田谷4-22-35		実施者種別	
学校・施設名等	〇〇学校		1. 事業者 ②. 学校長 3. 施設の長	
連絡先	担当者名	北沢 玉三郎	電話番号	▲▲▲▲-■●●●

該当するものに○をつける。
事業者：職員の健康診断
学校長：学生・生徒の健康診断
施設の長：施設入所者の健康診断

報告内容について、お尋ねすることがあります。
回答できる方のお名前・電話番号を記入してください。

「未受診者」の考え方
○産休・育休・病気療養中、海外赴任中などで、他の職員と日常的に接触しない職員は対象者に含めない。
→対象者数から除き、未受診理由は不要
○職場の健康診断は受けず、人間ドッグ等で自己管理している場合。
→受診結果の報告を受けた場合は職場健診を受けた方と同様に「受診」として扱う。
受診結果の報告がない場合、未受診(理由:『人間ドッグ結果報告なし』など)を記載する。

定期健康診断を実施すべき者の人数

結核定期健康診断を受診した実人数。
一般の健康診断を受診したが、結核の検査項目を受診しなかった者は除く。

検査項目ごとに受診人数を計上する。
2項目以上受診した場合は、それぞれに計上する。

被発見者数に記入する人数
○結核患者：「結核」と診断された人数
○潜在性結核：ツベルクリン反応またはIGRA 検査で陽性となり、治療のための服薬を行っている人数
○結核発病のおそれがある～：経過観察等と診断された人数

実施者種別 項目	実施者種別		
	1 事業者 (職員)	2 学校長 (入学者)	3 施設の長 (入所者)
対象者数		100	
受診実人数		98	
検査別受診数	X線検査者数	98	
	ツベルクリン検査者数		
	その他() の検査者数		
被発見者数	結核患者		0
	潜在性結核		0
	結核発病のおそれがあると診断された者		0

【未受診者がいる場合その理由】
健診日に欠席 1人
病気治療でX線検査を受診 1人
未受診者がいた場合は、必ず記入

【施設の長の対象者】
65歳以上の入所者

【学校長（入学者）の対象者】
今年度入学・編入した学生・生徒

【事業者の対象者】
学校・施設に従事している職員。
長期間にわたって勤務していない(産休・長期休暇等)者を除く。

報告内容に変更がある場合は、いずれかの方法でご提出ください。

- ① 報告書を差替える。
上部余白に「差替」と記載してご提出ください。
- ② 既報告に追加する。
上部余白に「追加」と記載して、追加分の人数のみ計上してください。